

## Webロガー (形式: TL2□) テクニカルサポート室についてのご紹介

表1 Webロガー (およびFAXロガー) 対応回線一覧

機種/ 形式	対応回線種類								
	ADSL	FTTH	CATV	NTT 専用回線	一般電話 回線	ISDN	PHS	DoPa	構内LAN
Webロガー TL2W-□	○	○	○	○		○			○
Webロガー TL2W2-□					○		○		
Webロガー TL2R2-□								○*	
FAXロガー TL2F-□					○				

\* FOMA回線、CIPL回線にも対応可能 (Interface & Network News 2 記事のNo.18、No.19参照)

今回は、Webロガーについての動作の検証、ユーザーサポート、ならびに新規通信インフラに関する調査・研究を目的として、このほどエム・システム技研 関東支店内に設置したWebロガーテクニカルサポート室(図1)についてご紹介します。

ご好評をいただいているWebロガーについては、お客様の多岐にわたる使用環境に対応するため、各種通信回線に対応できる機種を取り揃えています(表1)。

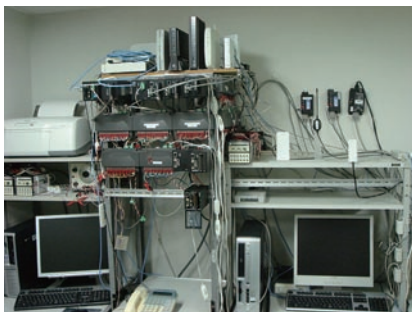


図1 Webロガーテクニカルサポート室

しかし、情報をデジタル信号として取り扱うことが日常化した現在、高速化、大容量化、移動体通信への対応など、通信回線を取り巻く環境は日々進歩しています。また通信会社からはグループアクセス、VPNサービスなど、今後も多種類の新しいサービスが提供されると考えられます。このため、新たにWebロガーをご購入されるお客様のニーズも以前に比べ多岐にわたると思っています。一方、すでにご購入いただいているお客様からは、ルータなど通信機器との接続に関するお問合せや、Webロガー本体に関するご質問が多く寄せられています。これらに対応するため、エム・システム技研としても

各種インフラの設置が不可欠になっています。

図2には、Webロガーテクニカルサポート室ですでに開設している通信回線の構成を示します。

Webロガーテクニカルサポート室は、ご希望があれば、お客様にご使用いただくことも可能です。詳細についてはシステム技術部までお問い合わせください。

**本稿についての照会先:**

(株)エム・システム技研  
 システム技術部 シス技1課(関西支店)  
 TEL: 06-6446-0040  
 システム技術部 シス技2課(関東支店)  
 TEL: 045-227-7366

【(株)エム・システム技研 システム技術部】

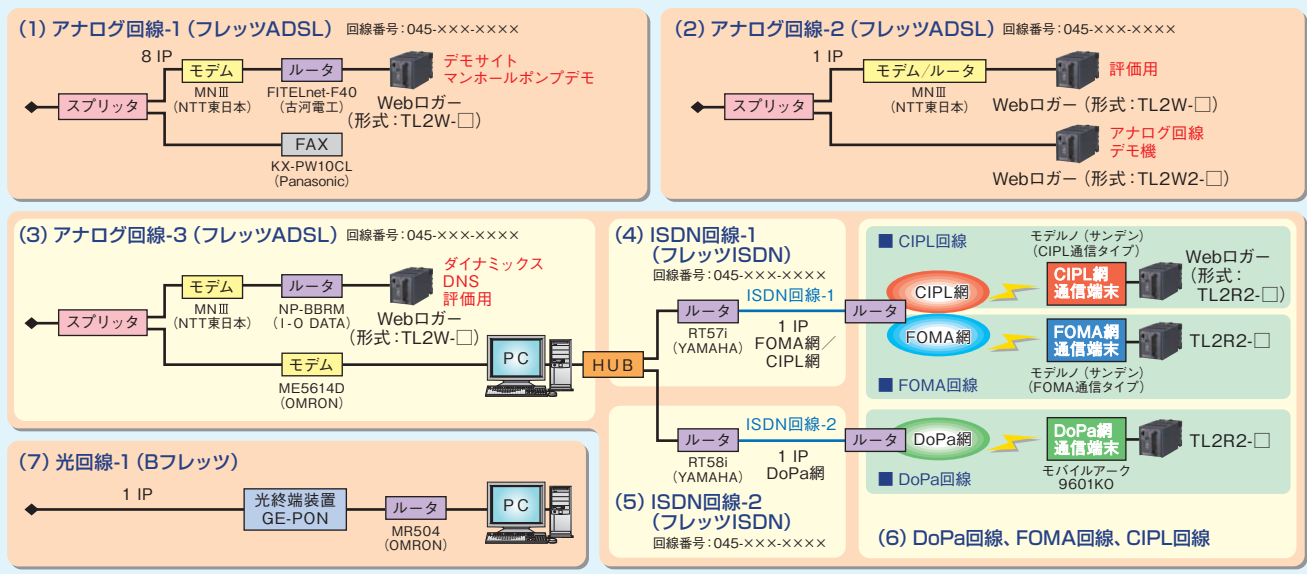


図2 Webロガーテクニカルサポート室に設置してある各種通信回線の構成図

再発見！新発見！

役立つ知識が粒揃い!!

# 計装豆知識

## 安全保障輸出管理における「該非判定」について

大量破壊兵器等の拡散防止や通常兵器の過剰な蓄積を防止するために、貨物(輸出品)<sup>注1)</sup>やその仕向地<sup>注2)</sup>によって、輸出に際して事前に経済産業大臣の許可を得ることが必要になる場合があります。

許可が必要になる貨物は、輸出貿易管理令(以下「輸出令」)の「別表第1」に列記されています。この「別表第1」は、16項目から構成されています。16項目のうち1の項から15の項までは品目別にそれぞれの仕様によって規定している、いわゆるリスト規制です。これに対し、16の項は品目ごとに仕様を定めるのではなく最終需要者や用途に関する知見によって規制する、いわゆるキャッチオール規制です。そして、輸出しようとする貨物が上記の法令で規定されているものに「該当する」か「非該当である」かを判定することを「該非判定」といいます。

リスト規制に対しては、輸出令別表第1の1の項から15の項に記載されている貨物名をチェックし、規制される貨物に該当するかどうかを判断します。関係する貨物名が全くなければ、「非該当」として規制の対象外になります。もしあった場合には、次にその貨物に対して定められた仕様に合致しているかどうかを判定します。この判定は、当該貨物の設計者、またはこれらと同等の専門分野の知識を有する者が行う必要があります。

次にリスト規制の対象外のものでも大量破壊兵器の開発等のために用いられるおそれを見定めるため、キャッチオール規制があります(輸出令別表第1の16の項)。キャッチオール規制では、食料品や木材など明らかに大量破壊兵器の開発等のために用いられないものを除き、すべての貨物が対象<sup>注3)</sup>となり、輸出者自身で貨物が大量破壊兵器の開発等に用いられるおそれがないかどうかを判断し、必要に応じ手続きをとる必要があります。その場合の要件は次の2つで、いずれにも当てはまらない場合、手続きは不要です。

### 1. 知っている場合(客観要件)

「輸出者が輸出しようとしている貨物が大量破壊兵器の開発等に使用されるおそれがあることを知っている場合」なお、客観要件は次の2点に着目しています。

#### (1)「輸出する貨物の用途」

輸出者が入手した文書に、その貨物の用途が大量破壊兵器の開発等であることが記載されている場合等を指します。

#### (2)「輸出する貨物の最終需要者」

リスト規制(15項)	対象品目	許可が必要となる条件
	高度技術を用いたもの(規制対象を明確に規程)	すべて規制対象
	↓ リスト規制の対象でなくても、キャッチオール規制のチェックが必要	
キャッチオール規制(16項)	対象品目	許可が必要となる条件
	一般技術を用いたもの(食料品、木材等を除くすべての貨物)	大量破壊兵器の開発等に使用されるおそれがあることについて、①輸出する貨物の用途や最終需要者に関する知見から承知していると考えられる場合(客観要件)、または②経済産業省から輸出者に通知があった場合(インフォーム要件)に許可が必要になります。

図1 輸出に際して、許可が必要になる貨物の条件

その貨物の最終需要者が、大量破壊兵器の開発等やそれに関連する行為を行なおうとしている場合や、過去に行なったと輸出者が知った場合を指します。経済産業省は、貨物が大量破壊兵器の開発等に用いられるおそれがある場合を示すため「外国ユーザーリスト」を公表しています。このリストは「安全保障貿易管理」のウェブサイトから入手できます<sup>注4)</sup>。

### 2. 通知を受けた場合(インフォーム要件)

「輸出しようとしている貨物が大量破壊兵器の開発等に用いられるおそれがあるとして、経済産業省から通知を受けた場合」インフォーム要件の通知は、輸出の時点の前に輸出者に対し、書面等によってなされることになります。

最後になりましたが、エム・システム技研の製品の該非判定結果を表示した該非判定書については、エム・システム技研のウェブサイトにある「サービス&サポート」の「輸出について」から、該非判定のための客観要件を入力することによってダウンロードいただけます (<http://www6.m-system.co.jp/Parametersheet/index.html>)。■

#### 〈参考文献〉

- 安全保障貿易管理 ウェブサイト <http://www.meti.go.jp/policy/anpo/index.html>
- 日本貿易振興機構(ジェトロ) ウェブサイト <http://www.jetro.go.jp/indexj.html>
- 「安全保障貿易管理ガイダンス」、(財)安全保障貿易情報センター

注1) 貨物の輸出だけではなく、技術(プログラムを含む)の輸出、提供も規制の対象となり、これを役務取引といいます。

注2) 輸出貨物の最終陸揚(空)港の属する国(又は領域)。

注3) 食料品や木材などではないために16の項に当てはまる場合を「キャッチオール規制(16の項)に該当する」と表現する場合がありますが、手続きをとる必要があると誤解されることが多いため、エム・システム技研では、「キャッチオール規制(16の項)の対象になる」という表現をしています。

注4) ただし、輸出令別表第4の2に掲げられている米国など26か国(ホワイト国といいます)向け貨物については、原則として、キャッチオール規制の対象外と規定されています。

【(株)エム・システム技研 開発部】

**受講者  
募集 !!**

**眠くならない実習主体の勉強会**

**受講料無料**



# 関西 / 関東MKセミナー

下記のコースの中から、ご希望のコースを1日単位でお選びいただけます。  
受講料は無料です。お気軽にご参加ください。

コース名	内容	関西支店 (大阪市) 日程			関東支店 (横浜市) 日程		
オームの法則	簡単な回路から電流・電圧・抵抗を測定してオームの法則を学習	6月4日 (水)	7月23日 (水)	8月5日 (火)	6月6日 (金)	7月18日 (金)	8月8日 (金)
変換器のアプリケーション	代表的な計装用信号変換器の役割と特性をパソコンの画面を見ながら学習	6月5日 (木)	7月24日 (木)	8月6日 (水)	6月5日 (木)	7月17日 (木)	8月7日 (木)
PID制御の基礎	温度を制御対象にした実習教材とパソコンを接続し、画面に表示される測定値、出力値の変化を観察しながらP・I・D制御動作を学習	6月18日 (水)	7月30日 (水)	8月27日 (水)	6月11日 (水)	7月25日 (金)	8月21日 (木)
		6月19日 (木)	-	8月28日 (木)	6月12日 (木)	-	-
省エネのための電力監視	リモートI/OとPCレコーダを用いて、省エネ・省コストのための電力監視を学習	6月10日 (火)	7月16日 (水)	8月19日 (火)	6月27日 (金)	7月2日 (水)	8月22日 (金)

【お知らせ】「SCADALINX(スカダリンクス)」コースの関西・関東会場での開催は、2007年1月をもって終了しました。今後のサポートについては別途お問い合わせください。

● ご参加の方には受講者登録票をお送りします。定員には限りがございますので、お早めにお申込みください。

**関西会場 (開催時間 9:30~17:00)**

(株) エム・システム技研 関西支店  
(大阪市西区江戸堀1-10-2 肥後橋ニッタイビル2F)

**関東会場 (開催時間 9:30~17:00)**

(株) エム・システム技研 関東支店  
(神奈川県横浜市中区本町2-22 日本生命横浜本町ビル7階)

**MKセミナーのお申込み  
および お問合せ先**



**(株)エム・システム技研 セミナー事務局 (担当:井上)**  
TEL.06-6659-8200 / FAX.06-6659-8510

**お客様のご要望にお応えして、名古屋にて臨時MKセミナーを開催します!**

**受講者  
募集 !!**

**眠くならない実習主体の勉強会**

**受講料無料**

# 中部MKセミナー

セミナー内容は関西・関東会場と同様です。

2008年7月 8日 (火)	オームの法則	(開催時間 10:00~17:00)
2008年7月 9日 (水)	変換器のアプリケーション	(開催時間 9:30~17:00)
2008年7月 10日 (木)	省エネのための電力監視	(開催時間 9:30~17:00)
2008年7月 11日 (金)	PID制御の基礎	(開催時間 9:30~17:00)

ご参加の方には受講者登録票をお送りします。定員には限りがございますので、お早めにお申込みください。

**中部MKセミナー会場**

名古屋市東区葵3丁目15番31号  
(住友生命千種ニュータワービル7階会議室)

● 地下鉄東山線「千種」下車、徒歩1分 ● JR中央本線「千種」下車、徒歩1分

**中部MKセミナーのお申込み および お問い合わせ先**

(株) エム・システム技研 中部支店 (担当:佐合(さごう))  
TEL.052-936-2901 / FAX.052-936-2932



# M・SYSTEM

# もれなく もらえる

# QUOカード

# プレゼントアンケート

先着  
2000  
名様!



※実際にお送りするカードの絵柄と異なります。

期間：2008年5月21日(水)～7月31日(木)

期間中エム・システム技研のホームページにアクセスし、ユーザー登録後、「新製品のアンケート」にお答えいただくと、先着2000名様にもれなく「QUOカード(500円券)」をプレゼント。

アンケートに答えて  
QUOカード  
GET!

Webでアンケートにお答えください!

エム・システム技研

検索

今すぐ  
アクセス!

<http://www4.m-system.co.jp/quo/>

<アンケート対象商品>

## 超薄形変換器 M6シリーズ

3タイプの端子台を揃えました。



スプリング式端子接続形  
M6Sシリーズ

ねじ端子接続形  
M6Nシリーズ

ユーロ端子接続形  
M6Dシリーズ

## デジタルパネルメータ 47シリーズ

明るく、はっきり! 水にも粉塵にも強い。



LCD式 47Dシリーズ  
LED式 47Lシリーズ

## バーグラフメータ 48Nシリーズ

目に鮮やか。高精細バーグラフ表示。



デジタル表示付  
指示警報計

指示警報計

指示計

## 電力マルチメータ 53U/54U

機能と経済性に優れた96角と110角。



ユーロ端子接続形  
DIN96角 53U

ねじ端子接続形  
JIS110角 54U

## タッチパネル式チャートレス記録計 73VRシリーズ

環境にやさしいペーパーレス記録計です。



入出力機器分離形  
73VR1100

ユニバーサル入力  
73VR2100

入力カード選択形  
73VR3100

 株式会社 エム・システム技研

カスタマセンター・関西支店 〒550-0002 大阪市西区江戸堀1丁目10番2号 (肥後橋ニッタイビル2F)  
関東支店 〒231-0005 横浜市中区本町2丁目22番 (日本生命横浜本町ビル7F)  
中部支店 〒461-0004 名古屋市長区葵3丁目15番31号 (住友生命千種第3ビル3F)

☎ (06) 6659-8200  
☎ (045) 227-7366  
☎ (052) 936-2901

お問合せはホームページから

<http://www.m-system.co.jp/>

●ホットライン

●ホットラインEメールアドレス

☎0120-18-6321

hotline@m-system.co.jp

# 「2008 エム・システム プロダクトフェア」 インタフェース&データロギングソリューション

主催：(株)エム・システム技研

協賛：各協賛出展会社様

(会場により協賛会社異なります。詳細はエム・システム技研のカスタマセンターまでお問い合わせください)

「2008 エム・システム プロダクトフェア」では、開催地域の特徴を考慮して、お客様のニーズ、ご要望に対応したエム・システム技研および協賛各社様の商品展示を予定しており、とくにリモートI/O、データ監視用機器を中心に、関連商品を展示します。

ぜひ皆様のスケジュールに加えていただき、お近くの展示会場へご来場いただきますようお願い申し上げます。

## ■ 展示会開催日程

開催日	開催地	会場名	開催時間	住所
4月(終了しました)	富士会場	ロゼシアター 4F 第1会議室	12:30~18:00	静岡県富士市藤原町1750
5月(終了しました)	仙台会場	イズミティ21 展示室	10:00~16:00	宮城県仙台市泉区泉中央2-18-1
6月5日(木)	刈谷会場	刈谷市民会館 2F ぼたんの間	10:00~17:00	愛知県刈谷市大手町2-25
6月10日(火)	厚木会場	プロミティあつぎ 1F 小ホール	12:00~17:30	神奈川県厚木市中町4-16-21
6月11日(水)	静岡会場	静岡市民文化会館 4F C展示室	12:00~17:30	静岡県静岡市葵区駿府町2-90
6月17日(火)	広島会場	広島県立広島産業会館 西館 第4展示場	12:00~17:00	広島県広島市南区比治山本町16-31
6月18日(水)	福岡会場	福岡国際会議場 4F 中会議室411・412	12:00~17:00	福岡県福岡市博多区石城町2-1
6月19日(木)	北九州会場	西日本総合展示場 新館(AIMビル3F) D展示場	12:00~17:00	福岡県北九州市小倉北区浅野3-8-1
6月25日(水)	石川会場	石川県地場産業振興センター 本館第5研修室	12:00~17:00	石川県金沢市鞍月2-1
6月26日(木)	富山会場	富山国際会議場 多目的会議室 201、202	12:00~17:00	富山県富山市大手町1-2
7月23日(水)	長野会場	ビッグハット若里ホール 2F 中会議室	12:00~17:00	長野県長野市若里3-22-2
7月24日(木)	松本会場	長野県松本勤労者福祉センター 2F 第1会議室	12:00~17:00	長野県松本市中央4-7-26

## エム・システム技研の主な出展機器



リモートI/O R7シリーズ

デジタルパネルメータ 47シリーズ

超薄形変換器 M6Dシリーズ

チャートレス記録計 73VR3100

# 「2008 エム・システム フェア」 オープンネットワーク&データロギングソリューション

入場無料  
ご来場者の皆様に  
粗品プレゼント

主催：(株)エム・システム技研

協賛：オムロン(株) 殿 / (株) デジタル 殿 /  
富士電機機器制御(株) 殿 /  
三菱電機(株) 殿 (名古屋会場のみ) /  
横河電機(株) 殿

エム・システム技研が主催し、毎年、大阪・名古屋・東京で開催してご好評いただいています展示会を、2008年度は名称を「2008 エム・システム フェア」として開催します。

今年は、オムロン(株) 殿、(株) デジタル 殿、富士電機機器制御(株) 殿、三菱電機(株) 殿(名古屋会場のみ)、横河電機(株) 殿のご協賛を得て展示会を実施します。

さらに、オープンネットワークについて、CC-Link協会 殿、オムロン(株) 殿、日本プロフィバス協会 殿、MECHATROLINK協会 殿によるテクニカルセミナーと、エム・システム技研のBACnet・LONWORKS 関連製品の説明を予定しています。

展示会場内は4つのゾーンとして、(1) 変換器・表示器 (2) データロガー (3) オープンネットワーク (4) 省エネ監視などの関連製品を展示します。エム・システム技研製品をはじめ、業界を代表する各協賛メーカーの製品と、オープンネットワークについて、見て・聞いて・触れていただける最適なプライベート展示会です。FA/PA/BA分野の垣根を越え、長年培ってきたインタフェース技術と通信技術を結集し、情報収集・監視できる便利な製品を展示します。

ぜひお誘い合わせの上、ご来場いただきますようお願いいたします。

**大阪会場** 7月4日(金) 10:00~17:00

新大阪イベントホール 2階 レルミエール

住所：大阪市淀川区西中島5-5-15 TEL:06-6308-1155

**東京会場** 7月11日(金) 10:00~17:00

東京都立産業貿易センター 浜松町館 5F 展示室

住所：東京都港区海岸1-7-8 TEL:03-3434-4242

**名古屋会場** 7月16日(水) 10:00~17:00

名古屋市中心企業振興会館 吹上ホール9F 展望ホール

住所：名古屋市中区千種区吹上二丁目6番3号 TEL:052-735-2111

## 技術セミナー開催 テーマ：近年のオープンネットワークの動向

\*セミナーは別会場となりますので、展示会場受付に10分前にお越しください。事前の登録は必要ありません。

- 1 CC-Link協会の活動状況および今後の展望  
CC-Link協会 殿 11:00~11:40
- 2 世界的に進むオープンネットワークの現状と今後  
オムロン(株) コントロール機器統轄事業部 殿 13:00~13:40
- 3 PROFIBUS 世界が選ぶフィールドバス  
NPO法人 日本プロフィバス協会 殿 14:00~14:40
- 4 高速モーションフィールドネットワークMECHATROLINK  
MECHATROLINK協会 殿 15:00~15:40
- 5 エム・システム技研のオープンネットワークへの取り組み  
(株) エム・システム技研 16:00~16:40

「2008 エム・システム プロダクトフェア」 「2008 エム・システム フェア」 についてのお問合せ先  
(株) エム・システム技研 カスタマセンター TEL.06-6659-8200 / FAX.06-6659-8510

エム・システム技研製品のご注文や価格につきましては、下記までご連絡ください。

代理店

**M・SYSTEM**

株式会社 エム・システム技研

ホットライン  
☎0120-18-6321  
カスタマセンター  
☎06-6659-8200 FAX 06-6659-8510

●ホームページ：<http://www.m-system.co.jp/> ●Eメール：[hotline@m-system.co.jp](mailto:hotline@m-system.co.jp)

カスタマセンター-関西支店 〒550-0002 大阪市西区江戸堀1丁目10番2号(肥後橋ニッタイビル2F) TEL (06) 6659-8200(代) FAX (06) 6659-8510

関東支店 〒231-0005 横浜市中区本町2丁目22番(日本生命横浜本町ビル7F) TEL (045) 227-7366(代) FAX (045) 227-7544

中部支店 〒461-0004 名古屋市中区東区3丁目15番31号(住友生命千種第3ビル3F) TEL (052) 936-2901(代) FAX (052) 936-2932

MS TODAY  
エムエッセイ

第17巻 第6号 通巻197号 2008年6月1日発行 (PR用限定印刷版)  
発行所：(株)エム・システム技研 編集・発行：(株)エム・システム技研 広報室

〒557-0063 大阪市西成区南津守5丁目2番55号 TEL (06) 6659-8202 FAX (06) 6659-8512

定価100円(定期購読料1年1,000円、3年2,500円)(消費税込)